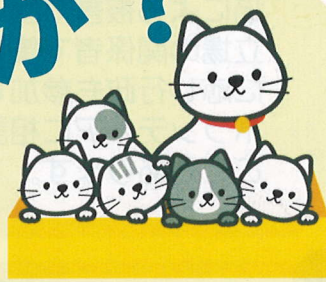


野良猫 飼い主のいない猫 に困っていませんか？



家で子猫が生まれた。
かわいそう・・・



野良猫のフン、鳴き声、
いたずら、困ったな・・・

無責任な置きエサや
ばらまきは不衛生
で困る！



『なんとかならないの？』

このような、

地域 猫 の困りごとを減らすための 活動 があります！

地域のみなさんで協力して、行政やボランティアの支援を得ながら、
これ以上、野良猫を増やさないようにして被害を少なくする取り組みです。

よくある Q & A

具体的な取り組み内容は裏面に



Q: 保健所が猫を捕獲してくれれば
被害が減るのに・・・

A: 保健所では、駆除を目的とした猫の捕獲は
行っておりません。

猫の被害にお困りの方には、一般的な猫避けの方法
をお試しいただいております。
また、地域で管理しながら猫による被害を減らして
いく取り組み（地域猫活動）を推奨しています。



Q: そもそもエサやりをやめさせれば
いいのに・・・

A: エサやりをやめることが問題解決につながる
わけではありません。

逆に飢えてゴミ場を荒らしたり、猫同士のけんか
が増えたりと、新たなトラブルが発生すること
もあります。

～取り組み手順(例)～

1 地域での話し合い

猫による被害で困っている方だけでなく、様々な立場の関係者で集まり意見を出し合います。必要に応じて行政も参加します。ボランティアに相談すると活動がスムーズになることもあります。

2 情報集め

猫の数、性別、エサ場、被害状況等について情報を集め整理します。

3 ルールづくり

- エサはいつ、だれが、どこでやるか
- トイレはどうするか（場所、清掃、担当など）
- 活動資金はどうするか
- 不妊去勢手術は誰がどうやって動物病院に連れて行くかなど…

4 不妊去勢手術

動物病院で手術を行い、元の場所に放します。手術のときに、耳にV字カットなどを施してもらうと手術済みの目印になります。

5 その後の管理

- エサやりやトイレの管理を継続します。
- 回覧板や地域の掲示板などを利用して活動状況を周辺住民に周知します。
- 他の地域からの捨て猫を防止します。

地域で力を合わせて取り組むことで！

- ◇ 不妊去勢手術をすると猫同士のけんかやおしっこの臭いが減ります。
- ◇ また、猫の繁殖を防ぐことにより飼い主のいない猫が増えなくなり、長期的には数が減ります。
- ◇ トイレの場所が決まると、フン尿の被害が少なくなります。
- ◇ 地域のコミュニケーションが豊かになり、猫を捨てることや虐待などの予防意識が高まります。



手術費用の助成制度もあるよ♪



一代限りの命を全うさせることで、飼い主のいない猫の数が徐々に減っていくこととなります。

行政も協力します！ ぜひご相談ください！

- 地域の方へ、活動方法の説明や助言を行います。
- 不妊去勢手術を目的とした捕獲器を貸し出します。
- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用を一部助成します。
- 捨て猫防止の看板を配布します。

詳細はこちら



問い合わせ先

八王子市保健所
生活衛生課 動物衛生担当
電話 042-645-5113
FAX 042-644-9100